

# 阪神・淡路大震災30年

# あの日の神戸

## — 記憶の継承 —

令和6年 10月22日(火)～令和7年 2月3日(月)

【会場】神戸大学 社会科学系図書館 2階 展示ホール

【開館時間】月～金/8:45～20:00 (ただし1/17は17:00閉館) 土・日/11:00～17:00  
(祝日および11/4,12/28-1/5,1/18,1/19は休館、ただし11/3(日・祝)は開館)

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町2-1

◇入場無料◇

阪急「六甲」駅、JR「六甲道」駅、阪神「御影」駅より市バス36系統バス停「神大正門前」下車、キャンパス内を北へ徒歩約5分、またはバス停「六甲台」下車、東へ徒歩約2分  
※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。



アクセス

お問合せ

神戸大学附属図書館 震災文庫  
TEL:078-803-7342  
E-mail:shinsai@lib.kobe-u.ac.jp

# あの日の神戸

## — 記憶の継承 —

神戸大学は、教育・研究とならぶ使命として、地域・社会との連携協力にも力を注いでいます。附属図書館においても、所蔵する貴重な資料を多くの皆様にご覧いただきたいと考え、平成16年度から毎年資料展示活動を実施しています。

神戸大学附属図書館は、阪神・淡路大震災の被災地の中にある図書館の責務として、関連資料を収集した「震災文庫」を公開しています。本年度は震災から30年の節目を迎えるにあたり、「あの日の神戸-記憶の継承-」をテーマに、当時の被災状況や街の様子と30年後の復興を遂げた現在の様子を、所蔵資料を中心とした写真や地図などでご紹介します。記憶の風化を防ぎ、次の大災害への備えを考える機会となれば幸いです。多数のご来場をお待ちしております。

## 展示概要

### 写真と地図で振り返る震災

30年前に震災で大きな被害を受けた神戸も復興を遂げ、歳月を経たことでその爪痕もほとんど感じられなくなっています。いま私たちが見ている街並みは震災の時ほどの様子だったのでしょうか？「長田区」「中央区」「灘区・東灘区」の3つのエリアを中心に震災当時と現在の写真から"あの日の神戸"と"私たちの今"を見比べます。



左：国道2号、桜口交差点から六甲山方面を望む  
(撮影:大木本美通氏)  
上：同地点、同アングルで撮影した現在の姿



神大生協食堂内に避難する人々 (撮影：久下正史氏)

### 震災のなかの神大と学生

経験したことの無い大災害のなか、神戸大学ではどのような被害を被ったのか、また、学生や教職員はどのような対応に迫られたのでしょうか。被災時の神大の状況、学生の様子、ボランティア活動など、写真や記録などから紹介いたします。

### 震災文庫紹介

「震災文庫」は、発災9カ月後の平成7年10月30日に公開を始めました。阪神・淡路大震災に関する資料を収集しており、図書や広報誌をはじめ、写真、チラシ、動画、音声など多岐にわたっています。資料点数は5万7千点以上になります。一部の資料は電子化していますので、震災文庫ウェブサイトからご自由にご覧いただけます。どうぞご利用ください。( <https://da.lib.kobe-u.ac.jp/da/eqb/> )

